

## 令和元年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」ご意見と回答

<b>質問 1 防災ラジオの配布について</b>	10月23日（水）南河内公民館
自治会長には防災ラジオが無償で配布されると聞いていますが、自治会長だけでなく副会長や班長へも配布していただきたい。	
<b>回答</b>	
防災ラジオの配布は、80歳以上の方のみの世帯、自治会長、民生委員、消防団の幹部などに無償貸与します。その他の方への配布については、今後検討してまいります。	

<b>質問 2 台風接近時の連絡体制について</b>	10月23日（水）南河内公民館
台風が接近し、避難所を開設したときの周知はどのように行われていますか。	
<b>回答</b>	
避難所開設のお知らせは、携帯電話でのエリアメールや市ホームページ、Twitter、とちぎテレビのデータ放送などで行っています。今後は、現在整備を進めているコミュニティFMも活用していきたいと考えています	

<b>質問 3 ふれあい館の鍵の管理について</b>	10月23日（水）南河内公民館
ふれあい館に避難所が開設されましたが、そのとき鍵が合わなかったと聞きました。問題はなかったのですか。	
<b>回答</b>	
ふれあい館には施錠箇所が2か所あり、別の鍵で開けようとしたことから鍵が合いませんでした。今後はこのようなことがないよう指導いたします。	

<b>質問 4 田川について</b>	10月23日（水）南河内公民館
台風19号の際、田川の水位が高いところがありました。県と連携して対応していただきたい。	
<b>回答</b>	
異常気象により、何十年に一度といわれる規模の台風や大雨が増えており、河川の水位にも影響しています。河川整備につきましては、今後も近隣自治体や国、県と連携し取り組んでまいります。	

<b>質問 5 高齢者の外出手段について</b>	10月23日（水）南河内公民館
近年、高齢者の交通事故が多く、免許返納が求められていますが、そうすると高齢者は外出しなくてもできなくなってしまいます。移動手段としてデマンドバスがありますが、市内を移動するのに市役所で乗り継ぐ必要があり、非常に利用しにくいです。高齢者が安心して外出できるよう改善をお願いします。	
<b>回答</b>	
現在、デマンドバスは、市内を南河内、国分寺、石橋の3エリアに分けて、各エリアにワゴン車1台が走っており、別のエリアへ移動するには市役所で一度乗り換えが必要となっています。今後は、1市2町での広域路線バス「ゆうがおバス」の運行が始まりましたので、「ゆうがおバス」とも連携し、デマンドバスのより効率的な運行を検討してまいります。	

<b>質問 6 地域包括ケアシステム構築と人材育成について</b>	10月23日（水）南河内公民館
高齢者の生活支援をしている中で、超高齢社会の課題を解決するには、関係部署の連携が必要だと感じていますが、現状、高齢者のことは高齢福祉課、外出支援は安全安心課といった縦割り行政になっています。庁内全体を取りまとめる体制づくりの考えはありますか。	
<b>回答</b>	
地域共生社会の実現にむけ、地域福祉計画を策定し、市役所全体で取り組んでいます。自治会や民生委員の皆さまの情報力が重要だと感じています。行政や社会福祉協議会だけでなく、地域で活動されている市民の皆さまのご意見やお力をいただきながら進めていきたいと考えております。	

<b>質問 7 しもつけブランドの PR について</b>	10月23日(水) 南河内公民館
春は「天平の桜」、夏は「夕顔の花とふくべ」、秋は「大鍋と芋煮会」、冬は「イルミネーション」など、たくさんある市のブランドを、市の公用車にフィルムを貼るなどして宣伝してはどうでしょうか。	
<b>回答</b>	
しもつけブランドの PR について、市民でも知らない方もおられると思いますので、PR の方法について検討してまいります。	

<b>質問 8 自主防災組織の整備について</b>	10月23日(水) 南河内公民館
今回、台風の被害があった場所には自主防災組織がありませんでした。自主防災組織の活動を、自治会と連携して強化していただきたい。	
<b>回答</b>	
市では、災害に備え、地域で活動する自主防災組織の活動を支援しております。今回の台風のような災害時には、地域の協力体制が重要ですので、これからも、自主防災組織の推進に力を入れ、消防署や消防団、自治会との連携を強化してまいります。	

<b>質問 9 水道整備事業について</b>	10月23日(水) 南河内公民館
昨年度、地下水 100%の水道水の維持を求める市民 8,000 人以上の署名を市長に提出しました。また、昨年、表流水の導入についての説明責任は県にあるとの回答を得たため、県の担当者と協議したところ、県では、渇水のリスクは地下水も表流水も高く、市町の水道整備は各市町の判断によると説明されました。また、7月に市議会主催による水道事業をテーマに講演会があり、講師が、地下水が確保されているなら新たな水源の確保に関して表流水のリスクは高いと発言されました。それでも、市民が望まない水道料金の値上げにつながる表流水の導入を見直す考えがないのか、市の考え方を今一度お答えください。	
<b>回答</b>	
「地下水に全面的に依存している現状から表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保する」という県の危機管理の考え方に賛同し、この事業に参加しております。今後も、市民の皆さまにご理解をいただけるよう丁寧に説明してまいります。	

<b>質問 10 プラごみゼロ宣言について</b>	10月23日(水) 南河内公民館
プラごみゼロ宣言について、海なし県から取り組むことに意義があるという市長の発言を大いに評価します。プラごみを削減するために独自の条例を策定するなど、具体的に取り組んでいる自治体がありますが、今後の取組について聞かせてください。	
<b>回答</b>	
プラごみゼロに向けて、海なし県の栃木県で取り組むことに大きな意義があるという県市長会の宣言に、本市も賛同いたしました。プラごみの削減には市民の皆さまの協力が必要ですので、どうすれば削減できるか皆で考え、取り組んでまいりたいと考えております。 また、近年、本市の人口 1 人当たりのごみの排出量が増加しています。時間がかかるかもしれませんが、子どもたちにごみ問題について教育するなど、長い目で見てごみの減量化につながる取組を行いたいと考えております。	

<b>質問 11 水道整備事業について</b>	10月23日(水) 南河内公民館
本市の水道水は非常に質が高いと感じています。県の言うことに賛同するだけでなく、市独自に考え、市民と腹を割って議論していただきたい。	
<b>回答</b>	
今後、県や周辺の自治体と協議を進めていく中で、市民の皆さまと相談していきたいと考えております。	

<b>質問 12 調整池の溢水対策について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
調整池の水を排水し、汚泥と蓮を除去していただきたい。池の周りの道路の側溝も汚泥や枯れ葉が詰まっているので、あわせて対応をお願いします。また、今回、池の西側にはあらかじめ土のうが設置されましたが、東側にはありませんでした。東側も西側と同様に対応してください。	
回答	
調整池は、沈砂池という、泥をためて池を作る仕組みになっており、調査では泥の堆積は想定内でした。しかし、台風や大雨で水量が増加することが想定されるときには、事前に水を抜くなど対応してまいります。蓮については、花が咲いている時期に楽しんでおられる方も多いため、検討が必要と考えますが、他の水生植物については、毎年除去しております。側溝については、早急に対応いたします。土のうは、調整池の西側から溢水する恐れがあるということで設置しましたが、東側も確認し、対応してまいります。	

<b>質問 13 車いすでの移動について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
車いすを利用しています。来年、定期的に宇都宮市まで出かけることになる予定ですが、移動手段に不安があります。	
回答	
市内の JR3 駅は、すべてエレベーターを完備しております。駅員の補助もつきますから、車いすでも問題なく電車に乗ることができると思います。	

<b>質問 14 避難命令とハザードマップについて</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
台風の時、とちぎテレビを見たら小金井地区に緊急避難命令が出ていましたが、範囲が広くてわかりにくかったです。また、市内の土地の高さがわからないと、どこがどのぐらい水没するのか判断できないので、ハザードマップに市内の土地の高さがわかる資料も載せてください。	
回答	
テレビやネットで、市が判断するより先に警戒レベル4という情報が出てしまい、申し訳ありませんでした。避難命令ふくめ、情報のきめ細かさでは、やはりコミュニティ FM が強いと考えます。12月20日に開局する「FM ゆうがお」は、防災ラジオがなくても、普通のラジオや、スマートフォンのアプリやPCでも聴くことができますので、ぜひご利用ください。 市内の土地の高さと浸水想定区域の資料は既にありますので、市ホームページからご覧いただけるよう対応いたします。	

<b>質問 15 避難所について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
自治会の役員をしています。今回の台風で、上古山の集落センターで待機していた消防団から、姿川が危ないので石橋北小の体育館を開放してほしいと連絡がありましたが、上古山地区の避難場所はスポーツ交流センターになっており、急遽、上原のコミュニティセンターを開けました。地震のときの避難所は石橋北小となっているので、見直しをお願いします。	
回答	
今回、予定降水量を基準に、早いうちからスポーツ交流館と友愛館と旧国分寺西小に避難所を開設しました。消防団から石橋北小に避難所を開設してほしいという要望があったのが夜10時近く、夜間の移動は危険ではないかと考え、開設はしませんでした。もっと早く姿川の危険を想定し、明るいうちに開設準備に入らなかったのが、今回の反省点です。今後、上古山などの姿川の上流域については、しっかりと消防団と連携をしながら避難所開設・運営を行ってまいります。	

<b>質問 16 水道整備事業について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
南摩ダムの建設費用や水道施設の費用など、下野市の負担金はおよそ100億円になろうと予想されます。下野市の水道には、すでに企業債が23億円あり、10年かけて4億円を減らす計画となっている中、さらに100億円の負担に対応するために、水道料金をいくら値上げするおつもりですか。	
また、表流水は農業地帯を流れてきますが、グリフォサートなど発がん性があるとされる農薬が含まれた水を飲んで、本当に大丈夫なのでしょうか。	

回答	
<p>今後、県と協議に入っていくこととなりますので、現段階においては水道料金などに関して具体的にお答えすることはできません。きちんと県と協議し、その過程も皆さんにお知らせしてまいります。農業地帯を流れる川の水をどのように浄水したらいいのかなどについても、県と協議し、検討してまいります。</p>	

<b>質問 17 就学時健診を利用した親学プログラムの実施について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>近隣の市町では就学時健診を利用して、親学プログラムを実施しているのですが、下野市では健診の際、保護者同伴が必要なので無理という回答をいただいています。これは今後も変わらないのでしょうか。(親学プログラムとは、保護者同士が話し合いと交流を通して子育てについて学ぶ学習プログラムのこと。)</p> <p>また、個々で子育て支援をしている団体を、それぞれの得意分野を生かした支援チームにしていく対策を、市にお願いしたいと考えています。</p>	

回答	
<p>各小学校で来年入学する子どもたちが受ける就学時健診は、保護者同伴で実施しています。個人情報に配慮するためと、何か異常が見つかった際、保護者の方でその事実を把握しているのか、治療はしているのかといった確認をその場で行うためです。また、現在は食物アレルギーがあるお子さんが多いので、学校栄養士との面談も必要になります。発達障がいや特別な支援を必要とするお子さんも増えており、安心して健康診断を受けていただくには、やはり保護者の同伴が必要であり、親学プログラムが実施できるほどのまとまった時間をとることは難しいのが現状です。家庭教育の重要性は充分理解しておりますので、親学プログラムの周知や支援は、引き続き行ってまいります。</p>	

<b>質問 18 地下水と雨水について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>以前、勤務していた事業所が独自に井戸を所有しており、水の無駄遣いをしているのを目撃しました。市では、独自に井戸を持っている事業所がくみ上げている水の量を把握していますか。</p> <p>また、地下水の保全のために雨水を利用していくことが重要と考えますが、市の公共施設で雨水の貯留槽を用いた施設はありますか。市で、家庭での雨水タンク設置の費用補助もしていただきたい。</p>	
回答	
<p>独自に井戸を使っている事業所については、後ほど回答させていただきます。また、市役所の庁舎で、雨水をトイレの水として利用しております。</p>	

<b>質問 19 水道整備事業について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>市の水道事業は現状のままで問題なく、100億円以上かけて新たな設備を作る必要はありません。100億円もあるなら、水害対策、社会福祉や教育など、やるべきことは他にあります。</p>	
回答	
<p>貴重なご意見として受けさせていただきます。</p>	

<b>質問 20 バス路線の拡充と古い道路の整備について</b>	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>ターミナル駅である小金井駅を起点としたバスの路線を拡充し、東の飛鳥のプロジェクトと抱き合わせて発展させていただきたい。天平の丘公園も、もっと花を増やして人が集まる場所にさせていただきたい。</p> <p>また、古い道路を改良して、高齢者も歩ける歩道にさせていただきたい。</p>	
回答	
<p>小金井駅を起点に、尼寺や天平の丘公園を活用して周遊できるよう、さらなる事業展開を検討してまいります。道路については、情報をお寄せいただき、段差を解消するなどの修繕を進めてまいります。</p>	

# 令和元年市政懇談会

## 市長のいきいきタウントーク

ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市  
～人・自然・文化が織りなす 知恵と協働でつくる下野市～

### ■台風19号

発生期間	2019年10月6日3:00 ～ 2019年10月13日12:00
寿命	7日9時間
最低気圧	915 hPa
最大風速 (日気象庁解析)	55 m/s (105 kt)
最大風速 (米海軍解析)	140 kt
平均速度	27.6 km/時 663 km/日
移動距離	4890 km
上陸地点	静岡県伊豆半島
死傷者数	本文参照
被害地域	日本.

## グランドスラム・パリ大会優勝



下野市出身 高藤直寿 選手

※写真はリオオリンピック時です。

2

都市データパック

## 「住みよさランキング」

全国812の市などのうち、

全国	44位
北関東	1位
栃木県	1位



3

## 公金詐取事件

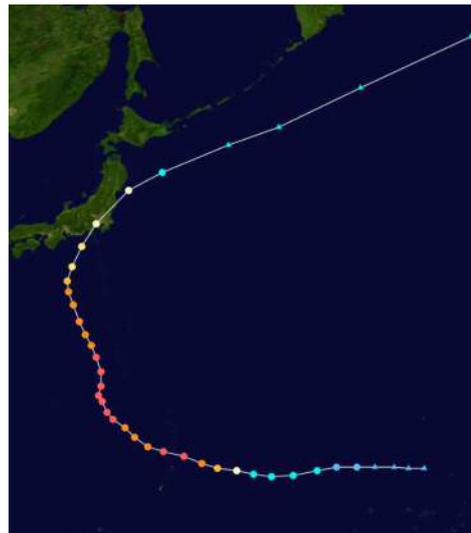
- 平成30年 1月24日  
職員が公金詐取による詐欺容疑で栃木県警に逮捕
- 平成30年 1月31日 懲戒免職
- 平成30年 2月13日 詐欺罪による起訴
- 平成30年 9月26日 判決確定  
(懲役4年の実刑判決)
- 令和 元年 7月26日 判決確定  
(損害金合計 3,715万7,619円)

4

### ■台風19号の特徴



■台風19号



■台風19号の経路

5

## 台風19号による警戒・処置状況

【10/11 (金)】

10:12 雷注意報 発令  
22:07 大雨、洪水、強風注意報 発令 雷注意報 継続

【10/12 (土)】

6:19 大雨警報 発令・雷、強風、洪水注意報 継続  
9:00 自主避難所開設 (スポーツ交流館・南河内公民館)  
13:44 洪水、暴風警報 発令・大雨警報、雷注意報 継続  
15:00 災害警戒本部 設置・第1回会議  
15:00 自主避難所開設 (国分寺西小学校)  
17:27 【姿川】警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始発令  
17:34 【田川】警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始発令  
18:00 災害警戒本部 第2回会議 (終了後災害対策本部に切替)  
19:26 【田川】警戒レベル4 避難指示 発令  
19:29 【姿川】警戒レベル4 避難指示 発令  
19:30～ 避難所追加開設 (石橋体育センター・ふれあい館  
・吉田東小学校体育館・南河内中学校体育館・ゆうゆう館)  
20:00 災害対策本部 第1回会議  
22:00 災害対策本部 第2回会議

【10/13 (日)】

0:00 災害対策本部 第3回会議  
2:20 大雨、暴風警報、雷注意報 解除 洪水警報 継続、大雨  
、強風注意報 発令  
4:58 大雨注意報 解除 洪水警報、強風注意報 継続  
7:00 災害対策本部 第4回会議 災害警戒本部へ移行  
10:00 災害警戒本部 第3回会議  
10:30 強風注意報 解除 洪水警報 継続  
15:00 災害警戒本部 第4回会議  
15:30 【田川】【姿川】避難指示解除

【10/15 (火)】

17:00 災害警戒本部 第5回会議

【10/16 (水)】

10:00 災害警戒本部 第6回会議  
17:30 災害警戒本部 第7回会議  
17:30 思川氾濫注意情報解除  
17:40 黒川氾濫注意情報解除  
17:45 災害警戒本部解散 (準備配備に移行)  
18:03 洪水警報解除

6

■避難所開設状況 10/12(土) 19:30～ 順次開設

避難所	10/12 21:50	10/12 22:30	10/12 23:30	10/13 3:00	10/13 6:00	10/13 14:30	10/13 15:00	10/13 15:30
① 南河内公民館	229	240	240	140	120	6	0	
① スポーツ交流館	26	26	26	16	16			
③ 石橋体育センター	40	72	77	53	0			
④ 旧国分寺西小学校体育館	56	56	56	30	17			
⑤ ふれあい館	150	200	200	140	30			
⑥ 吉田東小学校体育館	1	1	1	0	0			
⑦ 南河内中学校体育館	3	30	40	4	0	6	0	
⑧ ゆうゆう館	0	0	0	2	2			
合計	505	625	640	385	185	12	0	0

7



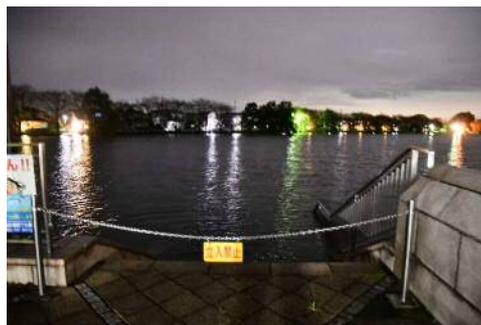
■道路等被害

【道路冠水路線】

- ⑦ 田川沿線 左岸側全域
- ⑧ 姿川沿線 橋梁一時市内全箇所通行止め
- ⑨ 緑2丁目 調整池満水による



磯部 農産物加工センター



東調整池 (グリーンタウン)

■堤防崩壊及び洗掘等

- ⑩ 田川 3か所 (境橋下流左岸50m、五千石球場西右岸左岸各50m)
- ⑪ 姿川 1か所 (ゆうがおパーク脇左岸10m)
- ⑫ 新川 1か所 (平成橋上流右岸20m)
- ⑬ 田川 1か所 (蛇統橋下流10m)
- ⑭ 姿川各所 (お使者橋～雷橋、越流による堤防外側洗掘)



田川 境橋左岸



姿川 ゆうがおパーク左岸

■公共施設被害

- ① 石橋中学校 浸水被害
- ② きらら館 浸水被害 休館中
- ③ グリム保育園 浸水被害 休園中



きらら館 フロア



グリム保育園

2019年(令和元年)10月13日(日)

# 台風19号 関東縦断

## 2人死亡、負傷60人超

### 本県など大雨特別警報

#### 県内、避難指示相次ぐ

30人超、佐野で女性けが

下野新聞 令和元年10月13日(水)

# 校舎に浸水、泥流入

## 県内交通も遮断、休校相次ぐ

台風19号による豪雨被害、県内交通も遮断、休校相次ぐ

台風19号による豪雨被害、県内交通も遮断、休校相次ぐ

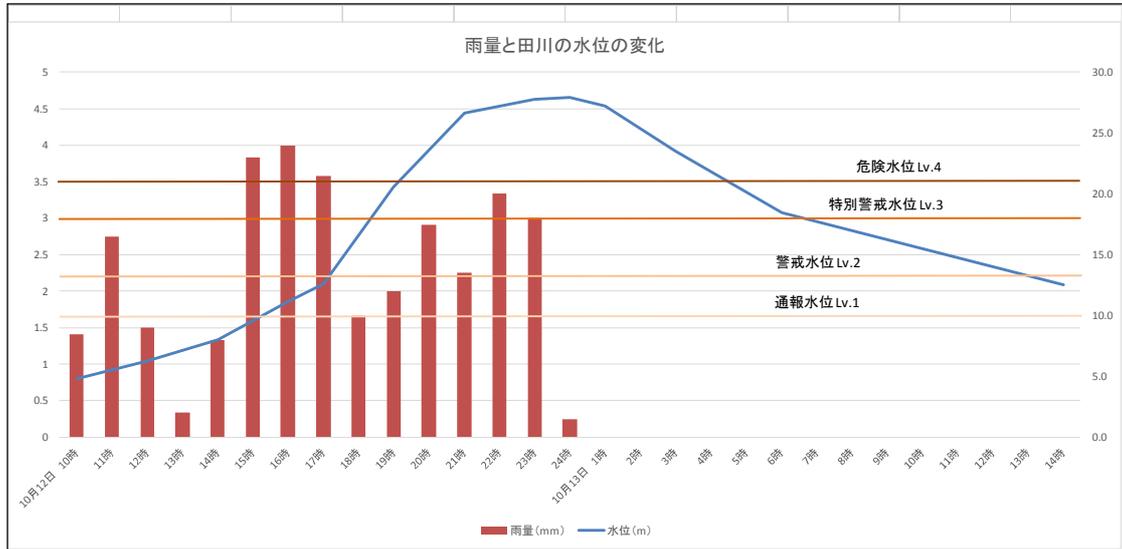
毛織が一部崩壊、不潔な状態のため、一部の生徒は通学できなかった。同校は授業の進度などを配慮したいとした。

16日は県内で多数の休校が決まっている。

（佐野市）佐野市立小

死などがあった。校舎に影

下野新聞 令和元年10月16日(水)



※雨量:小山市 水位:明治橋(上三川町)

12月20日放送開始予定！

コミュニティFM 「FMゆうがお」



87.9MHz

## 下野市防災ラジオの導入について

### ➤ 導入時期

令和元年12月の開局に併せて導入

### ➤ 防災ラジオの特長

国からのJアラート、緊急地震速報  
や市からの災害情報などが、**ラジオ本体の電源を切っても自動で起動し、最大音量で受信できる**



下野市コミュニティFM  
イメージキャラクター「しもびい」

## 下野市防災ラジオの概要

### ・ラジオ局6局プリセット済

- ① FMゆうがお (周波数87.9MHz)
- ② NHK-FM      ③ RADIO BERRY
- ④ NHK第1放送   ⑤ NHK第2放送
- ⑥ CRT栃木放送

### ・録音機能付き

最大15分(5分×3件)

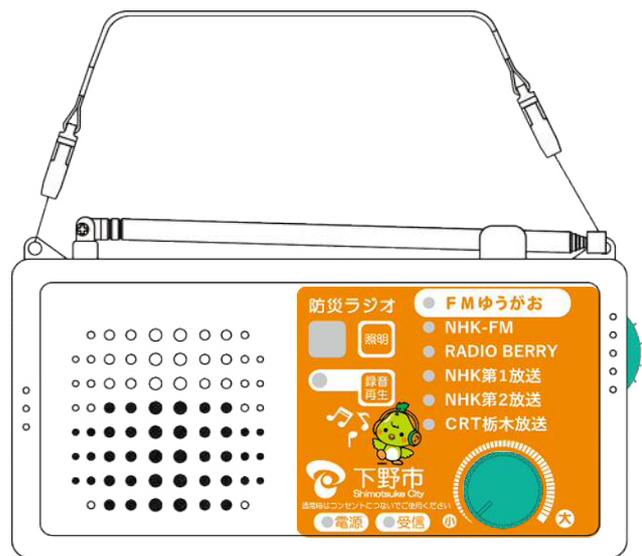
### ・仕様

寸法: 98.5(H) × 200(W) × 56(D)mm

重量: 約500g

電源: ACアダプタ(コンセント電源)

または単三アルカリ乾電池4本



下野市防災ラジオイメージ図

## 今年度購入分の配布予定

- 有償配布分(販売) 1,000台
  - ※予価(1台につき)
  - ・市内在住の方、市内事業者:5,000円
  - ・市内在住の75歳以上の高齢者のみで構成する世帯:2,000円
  
- 無償貸与分(貸出) 2,000台
  - ・市内在住の80歳以上の高齢者のみで構成する世帯
  - ・視覚障がい者1、2級の方
  - ・自治会長
  - ・民生委員、児童委員
  - ・消防団幹部 など



18

## 安全を確保するための補助事業の拡充について

### ●ブロック塀等安全確保の推進

- ・平成30年6月に発生した大阪北部地震では、耐震性に問題のあるブロック塀等が倒壊し、2名が死亡するなど重大な被害が発生
- ↓
- ・地方公共団体が地域防災計画又は耐震改修促進計画で位置づけた避難路(通学路を含む)沿道のブロック塀等の除却等に対する支援制度を国が創設
- ↓
- ・国の支援制度を活用した補助事業を市において創設し、令和元年7月から運用開始
  - ・※ 補助期間:令和元年7月1日から令和3年3月31日まで



出典:栃木県【お知らせ】  
ブロック塀等の安全対策について

19

## 下野市ブロック塀等撤去費補助事業の概要

### ●補助の対象となるブロック塀等

市内に存するコンクリートブロック造、石造、レンガ造等であって、道路等に接面し、地盤面からの高さが80センチメートル以上のもので、国で定める基準に適合しない項目が一つでもあるもの

※民地間に設置されているブロック塀等は補助対象外

●補助対象工事（補助の対象となる旨の通知を市から受けてから取り壊すもの）  
ブロック塀等の全て又は道路等の地盤面からブロック塀等の頂部までの高さを80センチメートル以下の高さに除却する工事

●補助金額 通学路：市内小中学校の児童・生徒が通学のために使用する経路のうち、学校長が指定した区間

通学路に面している場合	撤去工事費と対象工事の塀等の長さ $\times$ 15,000円/mを乗じて得た額（1,000円未満切り捨て）とを比較して、いずれか少ない方の額に3分の2を乗じて得た額 上限：200,000円
通学路以外の道路	撤去工事費と対象工事の塀等の長さ $\times$ 15,000円/mを乗じて得た額（1,000円未満切り捨て）とを比較して、いずれか少ない方の額に2分の1を乗じて得た額 上限：150,000円

20

### ●老朽危険空家等除却の推進

将来的に周辺に影響を及ぼすおそれのある空家について、自発的な除却と適正な管理を促進するため、市が認定した老朽危険空家等の除却工事に要する費用に対し、令和元年10月から補助を開始

#### ●老朽危険空家等とは

老朽化し、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれがあるなど、周辺への影響が大きいと認められる状態にあり、本市の判定基準により「特定空家」・「不良空家」に認定されたもの

【周辺への影響が大きいと認められる状態】

- ・そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
- ・そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- ・適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
- ・その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態



出典：  
災害に係る住宅の被害認定基準運用指針全編

21

## 下野市老朽危険空家等除却促進補助事業の概要

### ●補助の対象となる空家等の要件（以下の全てに該当する空家）

- ・市が老朽危険空家等であると認定したもの（事前調査により認定）
- ・空家等対策の推進に関する特別措置法第14条第2項の勧告の対象となっていないこと
- ・一戸建ての住宅（併用住宅を含む）であり、個人が所有するもの。（貸家は対象外）
- ・所有権以外の権利が設定されていないこと
- ・公共事業等の補償の対象になっていないこと
- ・補助を受ける目的により、故意に破損させたものでないこと

### ●補助対象者の要件（対象空家等の所有者又は相続人であって、以下の全てに該当する方）

- ・所有権を有する方が複数の場合には、対象空家等の除却について全員の同意があること
- ・市税等を滞納していないこと
- ・暴力団関係者でないこと
- ・建設業の許可又は建設リサイクル法の登録等を受けた市内の事業者解体工事を依頼できること。
- ・補助金の交付を受けていないこと

### ●補助金額

- ・補助対象経費（工事費）の1/2（1,000円未満切り捨て）
- ・特定空家等 最大50万円
- ・不良空家等 最大30万円

22

## 1市2町広域連携バス実証運行について

### 1市2町の公共交通（広域連携バス運行開始前）



### 【下野市・上三川町】

- JR宇都宮線
- 関東バス
  - ・石橋～宇都宮線
  - ・石橋～真岡線
  - ・上三川～宇都宮線

### 【壬生町】

- 東武鉄道



南北を繋ぐ路線は複数あるが、東西を繋ぐ路線がほとんどない

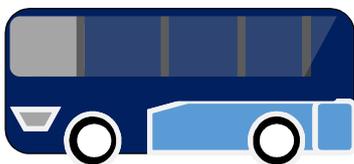
23

## 広域連携バス運行

### 【目的】

- ・市外、特に東武線への路線の確保
- ・獨協医大病院などへの移動が可能になる東西の公共交通ネットワークの構築
- ・1市2町の相互交流の活発化

- JR石橋駅～獨協医科大学病院を往復する路線
- JR石橋駅を起点にゆうきが丘団地を循環する路線



24

## 広域連携バス概要

### ・愛称は「ゆうがおバス」

- ・7月に1市2町の小中学校やホームページなどで愛称を募集
- ・➡402件の応募のなかから、地域の皆さんが覚えやすく、親しみが持てる愛称を選考委員会で審査・決定



### JR石橋駅～獨協線

- 【経路】JR石橋駅～東武おもちゃのまち駅～獨協医大病院
- 【運行時間】午前7時～午後8時頃  
9往復(休日4往復)
- 【運賃】180円～440円

### ゆうきが丘循環線

- 【経路】JR石橋駅～ゆうき公園～JR石橋駅
- 【運行時間】午前6時～午後8時頃  
8循環(休日5循環)
- 【運賃】180円～290円

25

# 産業団地整備推進事業について

## ●【これまでの経緯】

- ◆平成27年度 工場適地調査
- ◆平成28年度 地権者意向調査
  - ⇒西坪山工業団地東地区を候補地として選定
  - ⇒開発エリア（約33.3ha）
- ◆平成29 自然環境調査
  - ～30年度 法手続に必要な国県等関係機関協議
    - ⇒都市計画変更（工業専用地域）
    - ⇒農振除外、大規模開発協議

26

## <概要>

開発区域面積：33.3ha  
用途地域：工業専用地域



## <今後の取組>

- ◆令和元年度 現況測量  
国・県事前協議  
県への整備要望
- ◆令和2年度 事業採択・事業主体決定  
都市計画（用途）変更  
実施設計、開発申請
- ◆令和2～3年度 用地買収
- ◆令和4～6年度 造成工事
- ◆令和6年度～ 分譲開始

27

# (仮称)下野スマートIC整備事業について

## これまでの取組

- 平成27年度～ スマートIC設置協議
- 平成29年 7月 準備段階調査箇所を選定
- 平成29年 8月 スマートIC建設準備室 設置
- 平成29年11月 第1回地元説明会 開催
- 平成30年 7月 地区協議会 開催
- 平成30年 8月 北関東自動車道路との連結許可  
(仮称)下野スマートIC新規事業化
- 平成30年11月 第二回地元説明会 開催

	全 体
計画延長	L=約2.08km
幅 員	W=11.5m
位 置	壬生ICから3.4km 宇都宮・上三川ICから5.0km
総事業費	約29.7億円
開通予定	令和5年3月

## 今後の流れ

- 令和元年11月 事業説明会開催予定
- 令和2年度以降 用地買収・物件補償  
インターチェンジ整備工事
- 令和5年 3月 開 通



## 整備効果

- 高速道路の利便性向上・企業誘致・物流機能の強化による地域経済の活性化
- 広域的な災害対応

### 《高速道路利用環境の向上・物流効率化》

周辺の利用者が一般道の渋滞を回避し高速道路へのアクセスが可能となる。



### 《災害時の救援活動や緊急物資輸送の迅速化》

河川浸水想定区域を避けて高速道路を利用した通行が可能となる。



## 施設の概要

### ○陸上競技場

本格的な陸上競技の記録会やサッカーなどの大会が開催できる、全天候型舗装の400mトラックと、天然芝のフィールドを備えた日本陸上競技連盟から第4種の認定を受けた陸上競技場です。



### ○ジョギングコース

陸上競技場の外周コース(600m)と公園内を含む専用コース(1km1.2km)が整備されました。



### ○多目的グラウンド

野球やソフトボール、ゲートボールなどのいろいろなスポーツに取り組むことができる多目的グラウンドも整備しました。



### ○こもれび広場

複合遊具1基と健康遊具10基が新設された大人から子供まで楽しく遊べる広場となっています。



管理棟

### ○じゃぶじゃぶ池

幼児向けに新設された水遊び場で、夏期限定の利用となり、池と放水路の小川で遊べる構造となっています。(期間:7月から8月末日まで)



## (大松山運動公園の利活用について)

～水と緑のふれあいスポーツパーク～

### ●これまでの取組

令和元年5月19日に大松山運動公園オープニングセレモニーを開催しました。当日は、式典の他に、栃木SCによるオープニングゲームと、サッカー教室を開催しました。また、下記の表では9月までの主な大会を表示しております。



大会名	開催日	利用者数	大会名	開催日	利用者数
<b>■陸上競技</b>			<b>■サッカー</b>		
2019年度第20回ジュニアオリンピック陸上競技最終選考会	R1.8.31	約2000名	令和元年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技栃木県予選会	R1.6.2、9	300名
ジュニアオリンピックリレー強化練習会	R1.9.14	50名	第25回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会	R1.7.6～R1.7.7	400名
第48回栃木県中学校新人陸上競技大会地区予選会	R1.9.27、28	500名	高円宮杯U-18サッカー第15回ユースリーグ栃木2019	R1.8.18	200名
<b>■その他</b>					
ミニトライアスロン大会	R1.7.6	50名			
夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会	R1.8.2	約2500名			

※この他に、学校の部活動などの団体や、個人での練習利用があります。

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

## 今後の取組

- 今後の取組みとしまして、市の広報誌やホームページ、公園の掲示板などで開催予定の大会や市民の皆さまにご参加いただけるスポーツイベントについてお知らせを行ってまいります。

### ○ 陸上競技場 (10月以降の予定)

大会名等	開催予定日	大会名等	開催予定日
■陸上競技		■サッカー競技	
第48回栃木県中学校新人体育大会陸上競技大会	R1.10.18	高校サッカー選手権大会予選会	R1.10.26
第22回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 栃木県予選	R1.10.20、27	社会人県南リーグ	R1.10.6
■その他 スポーツ少年団シッПС交流会(R1.11.30)		栃木SCの練習	月に2回程度

- ※来年度以降も今年度と同様に大会等の誘致を進めてまいります。

### ○ いちご一会国民体育大会栃木大会 **いちご一会とちぎ国体 2022**

開催日程：2022年10月1日～11日

市開催種目：サッカー少年男子(陸上競技場) ハンドボール全種別競技(石橋体育センター)

※2021年には、両種目のリハーサル大会が開催される予定です。

- 今後の利活用
  - 大松山運動公園は市の「スポーツ活動の拠点施設」として整備を行っております。
  - 本市が取り組む、市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”を実現するため、
    - スポーツを楽しむ ○スポーツでつながる ○スポーツで熱くなる
  - これらを基本とした取組みを行っていきます。



## 令和元年度 新事業

医療用ウィッグと  
乳房補整具の購入に  
助成金が交付されます

### 下野市は、がんと闘う市民のみなさまを応援します！

がん患者の心理的・経済的な負担の軽減、療養生活の質の向上、社会生活の支援を目的に、平成31年4月より、下野市がん患者医療用ウィッグ等購入費助成金交付を開始しました。がんの治療に伴う外見の変化をカバーするための医療用ウィッグ、乳房補整具を購入した場合、助成金の交付を受けることができます。(※詳細は下記へ)

### 対象者(※以下の5項目すべてに当てはまる方)

1. 申請日の時点で下野市に住所がある方
2. がんと診断され、その治療を行っている方
3. がん治療に伴う脱毛、乳房の切除等で、補整具が必要となった方
4. 市税の滞納がない方
5. 過去にこの助成金の交付を受けていない方

### 助成金の対象

医療用ウィッグ本体  
※付属品・ケア用品は  
対象外

乳房補整具  
(補整下着・シリコン  
パットなど)

### 助成金交付額

購入経費(税込)の半額※  
上限額 **30,000円**  
※百円未満切捨て

購入経費(税込)の半額※  
上限額 **20,000円**  
※百円未満切捨て

### 申請について

申請期限：製品を購入した日の翌日から1年以内  
※平成31(令和元)年度に限り、平成30年4月1日以降に購入したのも対象となります

#### 提出書類：

- 助成金交付申請書兼請求書
- がん治療を証明する書類(お薬手帳・診療明細書など)
- 医療用ウィッグ、  
または乳房補整具の購入年月日と購入金額の明細がわかるもの

### お問い合わせ 申請先

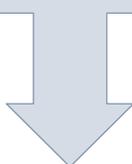
下野市役所 1階  
健康増進課  
成人保健グループ  
☎0285-32-8905

## 東の飛鳥プロジェクト推進事業

### ●これまでの取組

#### 下野市の特性

- ・「歴史が物語る住みやすい場所」
- ・遺跡・史跡が多いということは、古来より災害が少なく、住みやすい場所であったことを実証しています
- ・古代飛鳥地方(奈良県)に匹敵するほどの価値！



- ・歴史文化遺産を活用したまちづくり

## 「東の飛鳥プロジェクト」

H28年度  
下野薬師寺  
ガイドアプリ



H29年度  
しもつけ古墳群  
ガイドアプリ



H30年度  
①日光街道ガイドアプリ  
②「東の飛鳥」商標化  
③『新・下野市風土記』発刊  
④「東の飛鳥」ブランド制定  
記念イベント実施



## ●令和元年度の取組

- ①「下野市文化財保存活用地域計画  
ー東の飛鳥プロジェクトー」の策定  
文化財の保存と、地域づくりや教育、観光の資源として総合的な活用を図るための計画の策定やシンポジウムを実施。
- ②しもつけ風土記の丘資料館のリニューアル工事  
(H30年度～R2年度)  
東の飛鳥プロジェクトの拠点施設として資料館のリニューアルを実施。本年度は、特別収蔵庫の改築工事を実施。
- ③VR等を活用した文化財ガイドアプリの追加  
本年度は下野国分寺と国分尼寺跡等のガイドアプリを追加。



甲塚古墳出土  
機織形埴輪

## ●今後の取組

- ・文化財保存活用シンポジウムの開催(11月30日(土))  
「(仮)飛鳥時代のしもつけー東の飛鳥の実像ー」
- ・下野国分寺等のガイドアプリ公開(令和2年春公開)
- ・しもつけ風土記の丘資料館リニューアルオープン  
(令和3年春)
- ・文化財関連グッズ等の制作販売

本物の歴史にふれる教育の実践と「歴史のまち」としてのイメージづくり進め、当市の文化遺産を教育や観光資源として総合的に活用するため、今後も様々な取り組みを実施していきます。



下野国分寺復元CG

# “住みよさ県内ナンバー1” の実現を目指して



38

## 思川開発事業と県南広域的水道整備事業について 事業の経緯

- 昭和44年 <水機構> 実施計画調査に着手
- 平成 6年 <水機構> 事業実施計画の認可
- 平成19年6月 <栃木県> 県南広域的水道整備協議会を設置
- 平成21年10月 <国> 国土交通省が「できるだけダムにたよらない治水」へ政策転換
- 平成22年9月 <国> 国土交通大臣がダム事業の検証にかかる検討を指示
- 平成22年12月 <関東地整・水機構> 関係地方公共団体からなる検討の場を設置
- 平成25年3月 <栃木県> 関東地整・水機構へ「栃木県南地域における水道水源確保に関する検討報告書」を提出
- 平成27年3月 <栃木県> 栃木県水道ビジョンを作成
- 平成28年4～5月 パブリックコメント
- 平成28年5月 関係住民、学識経験を有する者からの意見聴取
- 平成28年8月 <国> 国土交通省が思川開発事業の継続決定
- 平成29年3月 <国> 事業実施計画の変更認可(工期延長)

39

## 事業の概要①

### 思川開発事業(ダム建設)

- 事業主体 : 独立行政法人水資源機構
- 施設 : 南摩ダム(ロックフィルダム)
- 場所 : 鹿沼市(南摩川)
- 目的 : 洪水調節、流水の正常な機能の維持、  
水道用水の供給
- 事業費 : 約1,850億円

※ 数値等は水資源機構より



40

## 事業の概要②

### 県南広域的水道整備事業(取水施設、浄水場、管路)

- 事業主体 : 栃木県
- |       |   |   |
|-------|---|---|
| 想定施設等 | 取水、浄水場<br>・送水自治体<br>・水量   | 検討中<br>栃木市、壬生町、下野市<br>0.403 m <sup>3</sup> /秒 |
| 想定事業費 | 施設建設費<br>維持管理費  | 検討中<br>検討中                                    |
| 考え方   | 県南地域において、将来にわたり安全な水道水の安定供給を確保するため、 <u>地下水から表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保する。</u> |   |

※ 数値等は栃木県より

41

## 現在の考え方

- ◇栃木県の地下水と表流水のバランスを確保する方針に賛同する
- ◇安全で安定した水道水の供給を将来にわたり保障する
- ◇リスク分散の観点から多様な水源を確保する